

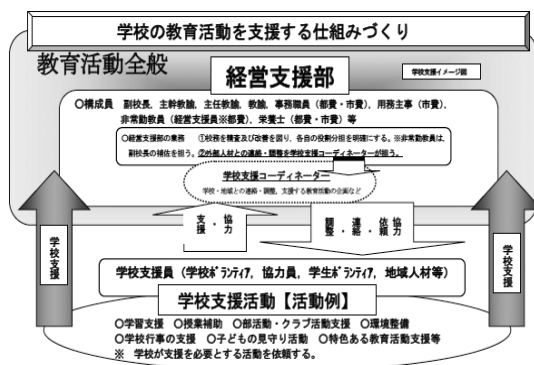
◆事業方針（計画等における位置付け）

調布市基本計画及び調布市教育プランにおいて事業推進を図っている。

保護者や地域住民等が参画した学校の教育活動を支援する体制を構築し、子供たちの学びを支援するだけでなく、地域住民の生涯学習や自己実現に資するとともに、活動を通じて地域のつながりを強化し、地域の教育力の向上を図る。

◆地域学校協働活動（学校支援活動を含む）の実施体制（特徴・工夫等含む）

学校経営支援部の中にコーディネーターを位置付けることで、情報共有や管理職及び教員との連携を強化することで、連絡・調整など円滑な活動が図れるようにしている。年間の活動は各校と学校支援地域本部（コーディネーター）を中心に企画立案及び実行している。



◆運営委員会

- 学校支援地域本部推進委員会（新規設置校の管理職及び教育委員会）（年2回）

教育委員会の方針・方向性などの説明。各校の活動の取組内容や課題について情報交換及び意見交換等を行う。

- 学校支援地域本部コーディネーター情報交換会（年2回程度）

教育委員会の方針・方向性などの説明。コーディネーター同士での意見交換や大学連携などの情報交換を行う。

- 学校管理職等とコーディネーターとの連絡会（定期・臨時開催）

◆広報活動（パンフレット、HP活用、広報誌、報告書など）

自校のホームページにおいて取組内容等の掲載や各校の学校支援地域本部で作成した広報誌を地域に配布し、組織や活動内容の周知を行っている。

◆コーディネーターの育成・交流の機会提供や学校に対する事業理解促進

- 調布市ボランティア連絡会開催（年1回）

調布市教育委員会の学校ボランティアに登録者を対象とし、学校支援地域本部コーディネーターと意見交換など交流する機会を設ける。

- 都主催の研修会やフォーラムへの参加推進

コーディネーター研修や学校支援コーディネーター・フォーラムなど、幅の広い活動へつなげるために、学校の管理職を通して参加を促進している。

◆成果

- 質的把握

広報・まつりへ参加などの活動の定着してきたことにより、地域や保護者、教員から評価を得ている。

学習支援などの活動から、児童・生徒の意欲向上や検定の合格率の向上につながっている。

- 好事例

活動（特に学習面）の充実により、学校選択制において生徒数が増加した。

◆課題・展望

課題：ボランティア等の人材確保及び育成。コーディネーターの資質向上。

展望：全校設置の推進。中学校区域単位での連携を強化し、広域的な活動・人材確保へつなげる。